

令和3年度実施施策に係る政策評価書

(農林水産省3-①)

政策分野名 【施策名】	林産物の供給及び利用の確保					
政策の概要 【施策の概要】	原木の安定供給、木材産業の競争力強化、都市等における木材利用の促進、生活関連分野等における木材利用の促進、木質バイオマスの利用、木材等の輸出促進、消費者等の理解の醸成等					
政策の予算額・執行額等 【施策の予算額・執行額等】 (※)	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	
	予算の 状況 (百万 円)	当初予算(a)	1,930 <30,880> の内数	2,001 <31,533> の内数	2,271 <87,428> の内数	1,986 <84,221> の内数
		補正予算(b)	32 <33,957> の内数	3,237 <34,360> の内数	- <46,009> の内数	-
		繰越し等(c)	△78 <3,963> の内数	△349 <△2,011> の内数		
		合計(a+b+c)	1,884 <68,800> の内数	4,889 <63,882> の内数		
執行額(百万円)	1,795 <64,630> の内数	4,221 <58,122> の内数				
政策に関する内閣の 重要政策 【施策に関する内閣の 重要政策】 (施政方針演説等のうち主なもの)	・森林・林業基本計画(令和3年6月15日閣議決定) 第3の3 ・農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略(令和2年12月15日農林水産省・地域の活力創造本部決定、令和3年12月24日改訂)					

※1 一般会計、特別会計を問わず政策ごとの予算等の合計額を記載している。

※2 複数政策に関連する予算については、<>外書きについて記載している。

※3 執行額については、政策評価の対象とはしていないが特定の政策に位置付けられるものについても計上している。

施策(1)	原木の安定供給										
目標①【達成すべき目標】	原木を安定的に供給する体制への転換										
測定指標	ア 国産材の供給量【再掲】	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標一 計算分類	
		年度	元年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度			7年度
		実績値		3,100万 m3 (令和2 年度)							
達成度合 い		(A:97%)	(:)	(:)	(:)	(:)		A	F↑一直		
年度ごとの目標値		3,100万 m3	3,200万 m3 (令和2 年度)	3,400万 m3	3,600万 m3	3,800万 m3	4,000万 m3	4,000万 m3			
把握の方法	出典:木材需給報告書 作成時期:調査年度の翌年度9月末頃 算出方法:木材需給報告書のデータにより把握。令和3年度実績値が把握できていないため、令和2年度実績値を用いて評価を実施。										
達成度合いの 判定方法	達成度合い(%)=当該年度の実績(見込)値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、A'ランク:90%以上150%以下、B'ランク:50%以上90%未満、C'ランク:50%未満										
備考											
目標②【達成すべき目標】	川上と川中(注1)との協定取引や直送等の取組を推進										
測定指標	ア 素材生産者から製材工場等 への直送率	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標一 計算分類	
		年度	30年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度			5年度
		実績値		-							
達成度合 い		-	(:)	(:)	(:)	(:)		-	F↑一直		
年度ごとの目標値		40%	-	-	51%	-	-	51%			
把握の方法	出典:木材流通構造調査 作成時期:調査年度翌年度の8月頃に公表(次回は令和5年度に調査実施予定) 算出方法:公表資料を基に木材産業課で試算										
達成度合いの 判定方法	達成度合い(%)=当該年度の実績(見込)値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、A'ランク:90%以上150%以下、B'ランク:50%以上90%未満、C'ランク:50%未満										
備考	統計値(平成30年木材流通構造調査報告書のうち素材の入荷先別入荷量及び仕入金額の数値)に修正があったため、基準値(平成30年度実績値)を修正した。										

(政策分野①)

施策(2)	木材産業の競争力強化										
目標①【達成すべき目標】	建築用材市場における需要を獲得していくため、製品を低コストで安定的に供給										
測定指標	ア 建築用材における国産材利用量	年度	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		元年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	7年度			
		実績値	1,600万 m3 (令和2 年度)								
達成度合い		(B:84%)	(:)	(:)	(:)	(:)		B	F↑－直		
年度ごとの目標値		1,800万 m3	1,900万 m3 (令和2 年度)	2,100万 m3	2,200万 m3	2,300万 m3	2,500万 m3	2,500万 m3			
把握の方法	出典:木材需給報告書 作成時期:調査年度の翌年度9月末頃 算出方法:木材需給報告書のデータにより把握。令和3年度実績値が把握できていないため、令和2年度実績値を用いて評価を実施。										
達成度合いの判定方法	達成度合い(%)=当該年度の実績(見込)値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											
目標②【達成すべき目標】	細かなニーズに対応した柔軟な製品供給等、JAS製品の利用を促進										
測定指標	ア JAS製材(機械等級区分構造用製材)の認証工場数	年度	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	7年度			
		実績値	97工場								
達成度合い		(A: 103%)	(:)	(:)	(:)	(:)		A	S↑－直		
年度ごとの目標値		90工場	94工場	98工場	102工場	106工場	110工場	110工場			
把握の方法	出典:林野庁調べ 作成時期:調査年度の翌年度6月末頃 算出方法:林野庁調べのデータを基に試算。令和3年度実績値が把握できていないため、令和2年度実績値を用いて評価を実施。										
達成度合いの判定方法	達成度合い(%)=当該年度の実績(見込)値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											
目標③【達成すべき目標】	横架材や羽柄材等での利用を拡大										
測定指標	ア 横架材用のラミナ及び羽柄材を含む国産材建築用材(ひき割類)の出荷量	年度	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		30年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	7年度			
		実績値	1,700千 m3 (令和2 年度)								
達成度合い		(B:83%)	(:)	(:)	(:)	(:)		B	F↑－直		
年度ごとの目標値		2,036千 m3	2,059千 m3 (令和2 年度)	2,080千 m3	2,090千 m3	2,100千 m3	2,110千 m3	2,110千 m3			
把握の方法	出典:木材需給報告書 作成時期:調査年度の翌年度9月末頃 算出方法:木材需給報告書のデータにより把握。令和3年度実績値が把握できていないため、令和2年度実績値を用いて評価を実施。										
達成度合いの判定方法	達成度合い(%)=当該年度の実績(見込)値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											

施策(3)	都市等における木材利用の促進										
目標①【達成すべき目標】	公共建築物等の木造化・内装の木質化を推進										
測定指標	ア 公共建築物の木造率	年度	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標一 計算分類
		元年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	7年度			
		実績値	13.9% (令和2年度)								
	達成度合い	(A:93%)	(:)	(:)	(:)	(:)					
年度ごとの目標値	13.8%	15% (令和2年度)	17%	18%	19%	20%	20%	A	F↑一直		
把握の方法	出典: 林野庁調べ 作成時期: 調査年度の翌年度3月末頃 算出方法: 「国土交通省建築着工統計調査」のデータを基に試算。令和3年度実績値が把握できていないため、令和2年度実績値を用いて評価を実施。										
達成度合いの判定方法	達成度合い(%)=当該年度の実績(見込)値/当該年度の目標値×100 A'ランク: 150%超、Aランク: 90%以上150%以下、Bランク: 50%以上90%未満、Cランク: 50%未満										
備考											
施策(4)	生活関連分野等における木材利用の促進										
目標①【達成すべき目標】	生活関連分野等への木材利用を促進										
測定指標	ア 木材を購入する際、国産材であることを重視する人の割合	年度	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標一 計算分類
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	7年度			
		実績値	21.6%								
	達成度合い	(A:98%)	(:)	(:)	(:)	(:)					
年度ごとの目標値	20%	22%	24%	26%	28%	30%	30%	A	F↑一直		
把握の方法	出典: 林野庁調べ 作成時期: 調査年度の3月末頃 算出方法: アンケート調査により認知度を集計し、達成状況を把握。										
達成度合いの判定方法	達成度合い(%)=当該年度の実績(見込)値/当該年度の目標値×100 A'ランク: 150%超、Aランク: 90%以上150%以下、Bランク: 50%以上90%未満、Cランク: 50%未満										
備考											
測定指標	イ 「ウッド・チェンジロゴマークの使用登録数」に係る指標 (令和4年度に設定)	年度	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標一 計算分類
		P年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	P年度			
		実績値	-								
	達成度合い	-	(:)	(:)	(:)	(:)					
年度ごとの目標値	P	-	P	P	P	P	P	-	P		
把握の方法	出典:- 作成時期:- 算出方法:-										
達成度合いの判定方法	-										
備考											

施策(5)	木質バイオマス(注2)の利用										
目標①【達成すべき目標】	燃料材の安定供給										
測定指標	ア 国産の燃料材利用量【再掲】		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標一 計算分類
		年度	元年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	7年度		
		実績値		893万 m3 (令和2 年度)							
	達成度合 い		(A: 128%)	(:)	(:)	(:)	(:)				
年度ごとの目標値		693万 m3	700万 m3 (令和2 年度)	740万 m3	760万 m3	780万 m3	800万 m3	800万 m3	A	F↑一直	
把握の方法	出典:木材需給報告書 作成時期:調査年度の12月末頃 算出方法:木材需給報告書のデータにより把握。令和3年度実績値が把握できていないため、令和2年度実績値を用いて評価を実施。										
達成度合いの 判定方法	達成度合い(%)=当該年度実績(見込)値/当該年度目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											
目標②【達成すべき目標】	新素材の研究・技術開発を推進										
測定指標	ア 新素材の開発・実証件数		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標一 計算分類
		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	毎年度		
		実績値		3件							
	達成度合 い		(A: 100%)	(:)	(:)	(:)	(:)				
年度ごとの目標値		2件	3件	3件	3件	3件	3件	3件	A	F↑一直	
把握の方法	出典:林野庁調べ 作成時期:調査年度の翌年度7月頃 算出方法:補助事業終了後の成果報告書等にて技術や製品の開発・実証の状況を判定										
達成度合いの 判定方法	達成度合い(%)=当該年度実績(見込)値/当該年度目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											
施策(6)	木材等の輸出促進										
目標①【達成すべき目標】	付加価値の高い木材製品の輸出への転換										
測定指標	ア 製材・合板の輸出額		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標一 計算分類
		年度	元年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	7年度		
		実績値		176億円							
	達成度合 い		(A: 100%)	(:)	(:)	(:)	(:)				
年度ごとの目標値		125億円	176億円	209億円	249億円	296億円	351億円	351億円	A	F↑一直	
把握の方法	出典:貿易統計(財務省) 公表時期:調査年度の3月頃 算出方法:貿易統計中 HS4407、4412、4413の年内の合計値										
達成度合いの 判定方法	達成度合い(%)=当該年度の実績(見込)値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											

施策(7)	消費者等の理解の醸成										
目標①【達成すべき目標】	消費者等の理解を醸成、合法伐採木材の流通量を増加										
測定指標	ア 木材を購入する際、国産材であることを重視する人の割合【再掲】		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	7年度		
		実績値		21.6%							
	達成度合い		(A:98%)	(:)	(:)	(:)	(:)				
年度ごとの目標値			20%	22%	24%	26%	28%	30%	30%	A	F↑－直
把握の方法	出典：林野庁調べ 作成時期：調査年度の3月末頃 算出方法：アンケート調査により認知度を集計し、達成状況を把握。										
達成度合いの判定方法	達成度合い(%)=当該年度の実績(見込)値/当該年度の目標値×100 A'ランク：150%超、Aランク：90%以上150%以下、Bランク：50%以上90%未満、Cランク：50%未満										
備考											
測定指標	イ 第一種登録木材関連事業者が取り扱う合法性が確認できた木材の量		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	元年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	7年度		
		実績値		2,968万 m3 (令和2年度)							
	達成度合い		(A:91%)	(:)	(:)	(:)	(:)				
年度ごとの目標値			3,035万 m3	3,254万 m3 (令和2年度)	3,693万 m3	3,912万 m3	4,131万 m3	4,350万 m3	4,350万 m3	A	F↑－直
把握の方法	出典：林野庁調べ 作成時期：調査年度の翌々年度4月(暫定値は調査年度の翌年度12月下旬頃把握予定) 算出方法：登録実施機関による年度報告により把握。令和3年度実績値が把握できていないため、令和2年度実績値を用いて評価を実施。										
達成度合いの判定方法	達成度合い(%)=当該年度実績(見込)値/当該年度目標値×100 A'ランク：150%超、Aランク：90%以上150%以下、Bランク：50%以上90%未満、Cランク：50%未満										
備考	指標の算出方法及び令和7年度の目標値(4,350万m3)は変更しないものの、令和元年度の合法性が確認された木材の量の値に誤りがあり、また、各年度の目標値は、基準年度との差を均等配分して定めていたため、年度ごとの目標値についても修正する必要が生じた。										

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分)	③相当程度進展あり
		(判断根拠) 政策分野②「林産物の供給及び利用の確保」については、令和3年度に目標を設定している測定指標数11個のうち、A'が0個、Aが9個、Bが2個、Cが0個となっており、A'、A及びB(ただし、前年度の実績値を下回った指標を除く)が半数以上、かつ、Cが4分の1以下であることから、令和4年度農林水産省政策評価実施計画に基づき、「③相当程度進展あり」と判定した。	
	測定指標についての要因分析 (達成度合いが悪い場合等) 【施策の分析】		
	次期目標等への反映の方向性		
	学識経験を有する者の知見の活用		
	政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報		

評価結果の政策への 反映状況 (主なもの)	予算	令和5年度予算概算要求において、関連事業(政策手段(1)～(13))の予算を引き続き要求する。
	税制	-
	その他 (法令、組織、定員等)	-

担当部局名	林野庁 【林野庁木材産業課/木材利用課/研究指導課/経営企画課/業務課/企画課】	政策評価実施 時期	令和4年8月
-------	---	--------------	--------

参 考

用語解説

注1 川上と川中 (川下)	川上は原木を供給する森林所有者や素材生産事業者、川中は原木を加工して木材製品を生産する製材・合板工場等の木材産業事業者、川下は木材需要者である住宅建設事業者やバイオマス発電事業者等を指す。
注2 木質バイオマス	主に、樹木の伐採や造材のときに発生した枝、葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮やのこ屑などのほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝などの種類がある。

※ 測定指標の詳細については令和3年度事前分析表、政策手段については令和4年度事前分析表をご覧ください。